

みんなの健康ラジオ

『口腔がんについて』

(2023年3月30日放送)

横浜市耳鼻咽喉科医会

横浜労災病院

塩野 理

口腔がんについて

- 口腔がんとは？

口の中にできたがん（悪性腫瘍）のこと

- 口腔とは？ 口唇から口峽（扁桃腺の手前）までの範囲

口唇 → 口唇がん

舌 → 舌がん

歯肉 → 歯肉がん

頬粘膜 → 頬粘膜がん

口腔底 → 口腔底がん（口底がん）

口蓋 → 口蓋がん

- これらのうち、最も多いのが舌がん

口腔がんについて

- 口の機能

咀嚼：食物を嚥下しやすい形に細かくする

嚥下：細かくなったものを咽頭に送り込む

構音：言葉を形づくる「あ・い・う・え・お」

味覚：舌や口蓋などにある味蕾によって感じる

- 口腔がんの症状

疼痛：食べ物や飲み物がしみる

出血：歯ブラシや硬い食べ物が刺激となる

治りにくい口内炎：びらんや潰瘍など上皮欠損

腫瘍：痛くないこともある

その他：ろれつが回らない、かみ合わせの変化、
よく舌や頬粘膜を噛んでしまう、首のできもの

口腔がんについて

- 口腔がんの原因

口腔内の衛生状態が悪い（齲歯が多い）

歯列不整による慢性的な歯の機械的刺激

喫煙、飲酒

免疫力の低下（加齢、投薬、ストレス）

ウイルス感染（ヒト乳頭腫ウイルスなど？）

- 口腔がんの検査

原発巣の評価：視触診、生検による病理検査、画像検査

頸部リンパ節の評価：画像検査（超音波、CT、MRI）

遠隔転移や重複がんの評価：PET/CT、上部消化管内視鏡（胃カメラ）

口腔がんについて

- 口腔がんの治療

部位によって、また早期がんと進行がんによって異なる

→早期がんと進行がん：病気の進み具合による分類

ステージ1、2は早期がん

- 早期がん、進行がんとも手術で取り切れる場合、手術が最も治療効果が高い
- 進行がんでは術後に放射線治療を追加することがある
- 手術により口腔の機能が大きく損なわれる場合、先に放射線治療に強力な抗がん剤を併用し、機能を守る